

このまちの100年

「和歌山」

和歌山は紀ノ川の河口に発展した都市。雑賀衆、根来衆といった惣国・寺社の勢力が強い地域でしたが、戦国時代に羽柴秀吉が平定、河口付近の岡山(若山)に築城を命じます。完成後、和歌山城となり、城下町も整備されました。



大正15年頃

和歌山城二の丸の産業博物館を活用した、和歌山県商品陳列所



昭和10年頃

市堀川に架かる京橋と本町通りの風景。自動車、バスが走る



昭和10年頃

和歌山城を中心に広がる和歌山公園(現在の和歌山城公園)



昭和10年頃

紀州徳川家の居城だった和歌山城。昭和20年の和歌山大空襲で、天守などを焼失



昭和10年頃

幕末の嘉永4年に架橋された不老橋。和歌浦にあるアーチ型の石橋



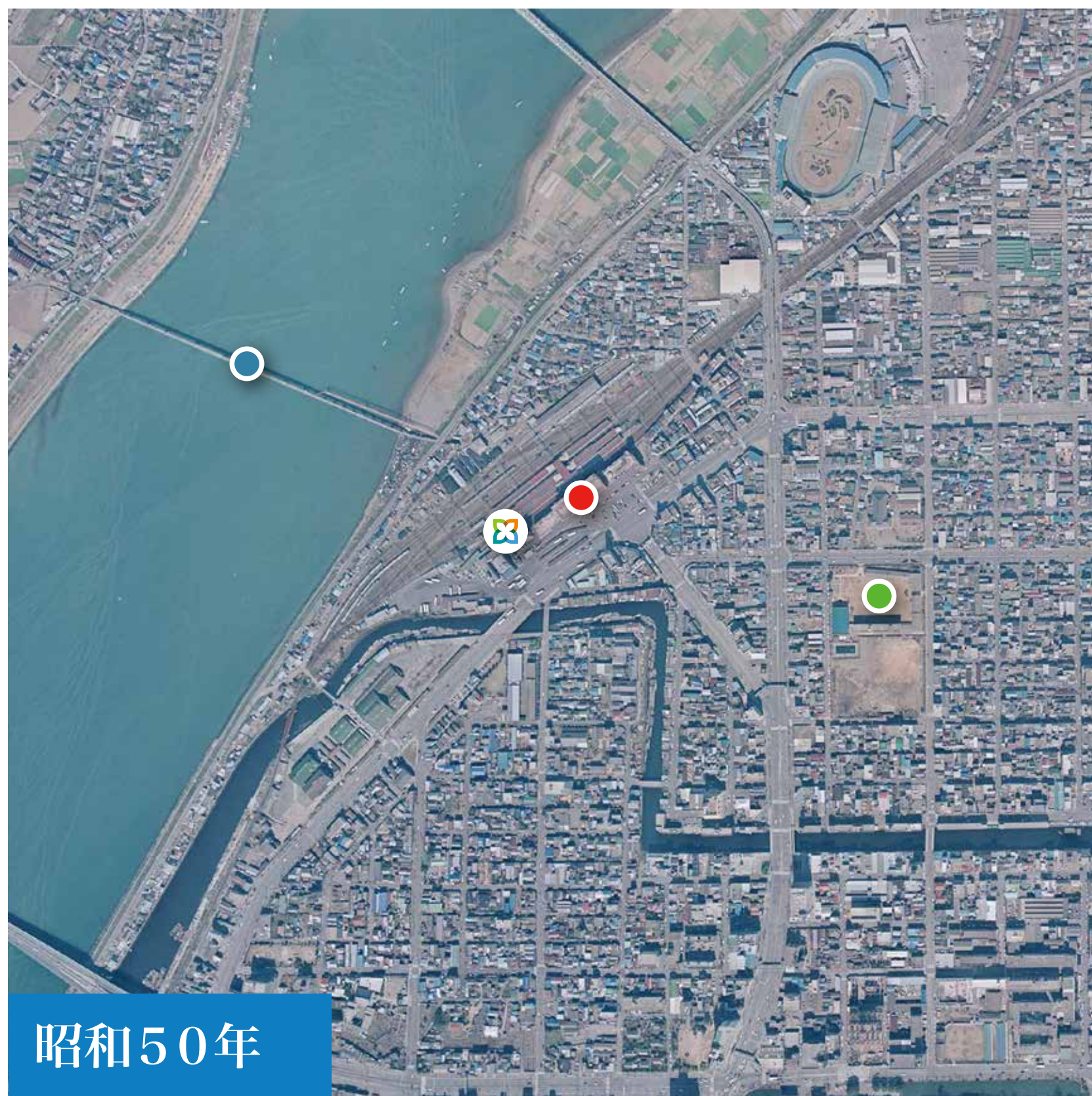
昭和30年代

真砂丁付近を走る南海和歌山軌道線の路面電車。奥に昭和33年に外観復元された和歌山城の天守が見える

上空からみた和歌山エリア



昭和22年



昭和50年



令和4年

●：紀ノ川橋梁(南海加太線)／河西橋／河西橋(架替中) ●：和歌山市立城北小学校／和歌山市立伏虎義務教育学校 ●：和歌山市駅

●：現在地

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集：株式会社コロモチ